

議会だより

# ワットサム

※「ワットサム」とはアイヌ語でワット（にれの木）・サム（傍）という意味で、わっさむの由来です。

第96号 2019年8月5日

和寒120年の歴史を振り返る

昭和2年 薬用人参試験場

（表紙の説明は13ページ）



- p2 三笠山大学との懇談会
- p4 こんなことが決まりました ～プレミアム付き商品券～
- p7 町政を問う。 一般質問に4議員が登壇
- p12 江別市環境クリーンセンター視察
- p14 町民インタビュー聞かせて “嗚呼ワットサム”

# 大学生と意見を交換

## ～三笠山大学と議会との懇談会～



7月17日に、公民館恵み野ホールにおいて、50名の参加を得て三笠山大学と町議会との懇談会を開催しました。

内容は、各委員会から議会活動の報告をさせていただき、その後参加された皆さんからご意見を伺いました。

### 議会からはこんな報告をしました

#### ■総務福祉常任委員会

- 財産の管理状況について
- ごみ処理方法について
- 国民健康保険税率の改定について
- 介護保険料の軽減について
- プレミアム付商品券について
- 医療機器の更新について

#### ■産業教育常任委員会

- 水道・下水道使用料について
- わっさむ活活商品券について
- 塩狩・夫婦岩周辺整備について
- 若草団地公営住宅整備について

#### ■議会広報委員会

- 議会動画配信の状況について

### 意見交換

**Q** 昨年は浄水場を建てたが、今後何を建てていくかの予定はあるのか。子や孫の世代に負担を残さないよう必要なものだけ建ててほしい。

**A** 近い将来建替えが必要になってくるものが芳生苑とゴミの処分場。また、公営住宅やインフラの整

**Q** 冬期間の除雪、大変苦労している。除雪の体制についてどう考えているか。

**A** 高齢者の方などに補助金などを出している。その他の部分にも手が届かせることが今後の課題だと考えている。

**Q** 町内の主な問題は。人口の減少と高齢化が大きな問題。またそれによって働き手もすくなくなっている。

備は建替えや改修が適宜行われる。

**Q** 人口は減っていくことを想定して何か考えているか。

**A** 町民の皆さんにも問いかけていきたい。転出を抑えていくことも大事。

**Q** 役場や農協の職員に海外研修などに行ってもらいたい特産品の模索などではないのか

**A** 新しいものを持つてくるとなると法律上難しい。人を出して新しいアイデアを得てくることは必要だと考える。

●紙面の都合により、内容の簡略化やすべてのご意見が掲載できておりませんのでご容赦願います。また、多くのご意見をいただきましたことに改めて感謝申し上げます。

## 参加者アンケート集計結果（抜粋）

あなたの年代と性別は。

区分	男	女	未回答	合計	率
60代	0	0	0	0	0.0%
70代	6	8	0	14	77.8%
80代	4	0	0	4	22.2%
合計	10	8	0	18	100.0%

このような懇談会を今後も行うべきと思いますか。

継続したほうが良い	15	83.3%
しなくても良い	1	5.6%
どちらでもよい	0	0.0%
未回答	2	11.1%
合計	18	100.0%

本町議会議員の定数は現在10名ですが議員定数についてどう思いますか。

現状でよい	12	66.7%
削減すべき	4	22.2%
増やすべき	0	0.0%
わからない	2	11.1%
合計	18	100.0%

全国でも議員のなり手不足は大きな問題となっていますが、要因はなんだと思いますか。

報酬	3	10.7%
高齢化	8	28.6%
人口減	7	25.0%
個人への負担が多い	0	0.0%
議会に関心がない	6	21.4%
その他	2	7.1%
未回答	2	7.1%
合計	28	100.0%

※複数回答あり

どの位の報酬があれば、議員として活動すると思いますか。

17万	6	33.3%
20万	4	22.2%
23万	2	11.1%
25万	1	5.6%
未回答	5	27.8%
合計	18	100.0%

※複数回答あり

議員に期待する役割について、どのようにお考えですか。

住民の要望を把握し、町政に反映させる	9	42.9%
町政へのチェック機能を果たす	2	9.5%
住民に町政に関する情報を伝える	7	33.3%
その他	0	0.0%
未回答	3	14.3%
合計	21	100.0%

※複数回答あり

町議会に対するご意見・ご要望など。

- ① 4年間頑張ってください。
- ② 公営住宅を新築するより老人住宅を建てるほうが良いと思う。大通公住で1暮らしの人の孤独死があったら住宅の後の利用は。

参加者23人中18人回答  
回答率 78%

6月  
定例会

あらまし

# プレミアム付商品券 ～活活商品券との違いは～



### 補正予算

【プレミアム付商品券事業】

消費税増税に伴うプレミアム付商品券事業について、対象者である非課税世帯と3歳以下の子どもをもつ子育て世帯、合わせて810人を勘案し、2025万円を予算に計上しました。購入期間は9月1日から12月30日までとなります。

【風しんの抗体検査・予防接種】

平成30年7月以降、風しんの患者数が増加していることから対策として抗体の検査・予防接種事業を行うために27万2000円の予算を計上しました。

【胸痛心筋マーカーの更新】

平成21年に購入した心不全や心筋梗塞を発見するための機器である胸痛心筋マーカーが故障したため、33万円の予算を計上しました。

6月定例会議会（第2回定例会）は、令和元年6月20日から21日にかけての2日間で開催しました。20日は、奥山町長から行政報告が述べられた後

に、一般質問を行い、4人の議員が登壇しました。21日は条例の改正や補正予算の審議の他、意見書5本が可決されました。

会計別	補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計	45億3600万円	5536万円	45億9136万円
主な増減内容 (※抜粋掲載のため、各事業補正額と補正額の合計は合致しません。)	○障がい者自立支援給付支払等システム改修業務委託		1313万円
	○プレミアム付商品券事業		2025万円
	○健康管理システム改修委託		43万円
	○強い農業・担い手づくり総合支援事業補助		300万円
	○生活応援・商工業活性化対策事業補助		1630万円
	○圧雪車・総体モーター修繕		200万円
介護保険特別会計	5億9963万円	39万円	6億2万円
増減内容	○介護保険システム改修業務委託		39万円
町立和寒病院事業会計	1086万円	30万円	1116万円
増減内容	○医療機器購入費		30万円

# 働き方改革

## 条例改正

【職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正】

働き方改革※による労働基準法の改正に対応するため、職員の勤務時間に係る条例の改正を可決しました。

【国民健康保険税条例の一部改正】

本町は平成21年以降税率の改正を行っていないため北海道から示された標準保険税率に準ずる税率になるようにする改正を可決しました。

【介護保険条例の一部改正】

低所得者に対し、平成27年4月から公費による保険税の軽減措置を行っているが、消費税増税に合わせ更に軽減強化を促す改正を可決しました。

## 財産取得

【総合行政システム備品の更新】

平成26年度に購入した総合行政システムサーバーの更新時期になったため、それらを更新することを可決しました。

## 人事

【人権擁護委員候補者の推薦】

打田幸江氏（三笠）、安孫子敏己氏（三笠）を人権擁護委員とし推薦し、議会の同意を得ました。



安孫子敏己氏



打田幸江氏

## 報告

【和寒町一般会計繰越明許費繰越計算書】

総額1,810万円を本年度に繰越する報告がありました。

事業名	翌年度繰越額
総合行政情報システム整備事業	180万円
三和高校校舎改修事業	1,500万円
農地・農業用施設災害復旧作業	130万円
合計	1,810万円

【和寒町土地開発公社の経営状況について】

経営状況について報告がありました。

## 補正予算

# 質疑応答

プレミアム付商品券事業

Q 町民が活活商品券と間違えてしまわないか。

A 消費税増税に伴う商品券は低所得者を対象としており、区別が付くようにしていく。また購入方法なども広報していく。

風しん  
抗体検査・予防接種

Q 令和元年から3年間ということだが、どのようなスケジュールを想定して進めていくのか。

A 昭和37年から昭和54年生れの方が対象だが、その中でも令和元年度は昭和47年から54年生れまでの男性を中心に実施していく。

※2019年4月1日から、働き方改革関連法が施行されました。人口減少による労働力不足を解決するための法律で、主に長時間労働の是正と非正規雇用の待遇差改善が盛り込まれています。

# みんなの声を国政に

公益に関わる次の5件について、議員から意見書案が提出されました。  
第2回定例会において審議の結果可決され、関係行政省庁などに提出されました。

## 2019年度北海道最低賃金改正等に関する意見書

提出者：伊藤 明 賛成者：中原 浩一、下條 美恵、谷口 勝弘 採決結果：可決（全員賛成）  
提出先：北海道労働局長、北海道地方最低賃金審議会会長  
(要旨)

北海道最低賃金の引き上げはワーキングプア（働く貧困層）解消のための「セーフティネット」の一つとして最も重要なものである。最低賃金が上がらなければ、その近傍では多くの方の生活はより良そう厳しいものとなり、ひいては北海道経済の停滞を招くことにつながりかねない。

よって、2019年度の北海道最低賃金の改正にあたり、強く要望する。  
(全3項目)

## 「子どもの貧困」解消など教育予算確保・拡充と就学保障、義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、教職員の超勤・多忙化解消と「30人以下学級」の実現に向けた意見書

提出者：伊藤 明 賛成者：佐々木広行、中原 浩一、金谷 浩幸 採決結果：可決（全員賛成）  
提出先：内閣総理大臣、衆議院議長、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣、内閣府特命大臣（地方創生担当）  
(要旨)

国においては教育予算の確保・拡充、就学保障の充実、義務教育費無償、義務教育費国庫負担制度の堅持、当面負担率1/2への復元、教職員定数改善など、はかるよう意見する。

(全7項目)

## 2020年度地方財政の充実・強化を求める意見書

提出者：中原 浩一 賛成者：伊藤 明、下條 美恵、谷口 勝弘 採決結果：可決（全員賛成）  
提出先：内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、経済産業大臣、厚生労働大臣  
内閣府特命担当大臣（地方創生規制改革担当・経済財政政策担当）

(要旨)

2020年度の政府予算と地方財政の検討にあたっては、国民生活を犠牲にする財政とするのではなく、歳入・歳出を的確に見積もり、人的サービスとしての社会保障予算の充実と地方財政の確立をめざすことが必要であることから、意見する。

(全7項目)

## 日米貿易協定交渉から日本の農業・農村を守る要望意見書

提出者：中原 浩一 賛成者：伊藤 明、石田 利美 採決結果：可決（全員賛成）  
提出先：内閣総理大臣、衆議院議長、参議院議長、内閣府特命担当大臣（経済財政政策担当）、農林水産大臣  
(要旨)

日米貿易交渉が4月から開始され、日本政府は過去の経済連携協定の内容が最大限とする日米共同声明にそって交渉するとしています。しかしながら、農業分野での選考妥結や関税撤廃・削減、輸入枠拡大を要求されることが危惧されます。我が国の食料主権及び食糧安全保障が守られるように、意見する。

(全2項目)

## 新たな過疎対策法の制定に関する意見書

提出者：石田 利美 賛成者：谷口 勝弘、中原 浩一、酒向 勉、伊藤 明 採決結果：可決（全員賛成）  
提出先：内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、農林水産大臣、国土交通大臣  
(要旨)

過疎対策については昭和45年以降、4次にわたる特別措置法による一定の成果はあったが、依然として多くの集落が消滅の危機に瀕している。引き続き総合的な過疎対策を充実強化させることが必要であることを意見する。

# 町政を 問う。

## 一般質問

和寒町では1人につき60分の制限時間が設けられ、質問の回数は無制限で行われます。

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたって、執行機関（町長・教育長）に疑問点をだし、所信の表明を求めるものです。  
※紙面の都合上、概略のみ掲載しています。

質問議員	質問事項	ページ数
石田 利美議員	①和寒町の交通安全対策は ②和寒町におけるスマート農業の推進は	8ページ
中原 浩一議員	①本町農業の未来を見据えて ②今後のJR路線問題と駅周辺の環境は	9ページ
和田 智巳議員	①カントリーサインのデザイン変更を ②光回線を全戸に整備する考えは ③夫婦岩周辺の環境対策は	10ページ
小野田久美子議員	①フードツーリズム推進協議会の考えは ②JR北海道に対する費用負担と利用促進対策は ③ビジネスチャンスと捉えた「風っこ そうや」号のおもてなしのありかたは	11ページ

**問 和寒町の交通安全対策は**

**答 対岸の火事ではなく、危機感を持って進めている**



石田利美議員

**問 和寒町におけるスマート農業の推進は**

**答 スマート農業の取り組みに支援していく**

高齢者の運転免許自主返納支援事業は

近年、毎日のように高齢者の重大な交通事故が全国的に起き、テレビ・新聞で報道され大きな社会問題となっている。

高齢者の運転免許自主返納支援事業を実施しているが、返納する方が少ないと思われる。

和寒町における高齢者や子どもへの交通安全対策は。

奥山町長

毎年、年間9期にわたり90日の運動期間が設けられており、この期間においては、交通安全協会をはじめ、学校やPTA、警察等関係機関、団体などと連携を図りながら、児童、生徒に対する登校時の街頭指導などを行っている。

平成28年度から実施している高齢者の運転免許自主返納支援事業は、これまで免許証の有効期限内に自主返納された75歳以上の高齢者のかたが10名になっている。

教育長

和寒町青少年育成町民会議の3つの部会の共通の取り組みとして、安全見守り隊活動にここごパトロール活動などの子供安全推進事業を推進している。

高齢者の重大な交通事故が社会問題となっており、和寒町においても対岸の火事ではなく、危機感を持って子供に危機回避能力の育成も両軸の一つとして交通安全対策を講じている。



▲交通安全協会からの免許証返納グッズ



スマート農業の推進は

農業は和寒町の基幹産業であり、現在は農業従事者の高齢化などによる労働力が不足する一方で、農家の大規模化が進むという課題に直面している。

これらの課題を解決するため、ロボット技術やICTを活用したスマート農業における省力化や低コスト生産が期待されている。

農業の労働力、後継者不足を補うためにもスマート農業の推進は。

奥山町長

国においては、農林漁業者の所得の向上を目的とした、農林水産業・地域の活力創造プランを平成30年11月に改訂し、スマート農業新技術の開発、実証、普及を加速させる、農業新技術の現場実装推進プログラムが本年6月に公表された。

町としては、こうした取り組みなどに関して情報を収集するとともに、農業用機械の自動操舵システムや、水田の高度水管理システムの導入などを対象に、優先的な採択を受けられる国の交付金の周知を図るなど、スマート農業の取り組みに支援していく。



▲トラクターのGPSオート操作

中原浩一議員



### 問 将来を見据えた大区画化は

答 大区画化に関する他の地域の情報も収集しながら

### 問 今後のJR路線問題と駅周辺環境は

答 2年間に限り支援し本町の負担は約40万円と見込む

将来を見据えた大区画化は

近隣町、空知支庁も大区画化は町・関係機関挙げて進めているが町長の考えは。

奥山町長

農地の大区画化は、強い経営意識を持つ方々によって期成会を立ち上げ、大区画化に応じた機械の導入や、土地所有者間の調整などの役割を検討段階から担う必要がある。具体的な要望は伺っていない。今後は、大区画化に関する他の地域の情報も収集しながら、農業者の要望に応じていきたい。

○再質問

行政だけ、受益者だけでも駄目で、農業関連機関と一体になって、農業現場の問題として人材不足、作業の効率化、スマート農業を推進する上で、将来を見据えた大区画化は早急に議論進めるべき。

奥山町長

大区画化イコール、スマート農業と密接に関連するとお

りで、当然そういった動きがあれば、汗かく用意はあるが、今、ご指摘あったように非常に難しい課題があるということも承知している。



▲農地の大区画化

今後のJR路線問題と駅周辺環境は

今後の費用負担について地元と検討を始めたい区間としているが、現状はどのように話し合いがなされているのか。また、町長は観光とJR存続は切り離せないと言っていますが、JR駅のトイレを含めた周辺環境を整えるべきと思うが。

奥山町長

現在、宗谷本線を含むJR単独では維持困難な8線区に關係する自治体が、支援に係る負担に同意している。

本年5月に道から宗谷本線活性化推進協議会に対し説明があり、緊急臨時的な対策として2年間に限り支援し、年間2億円のうち道が1億4,000万円、市町村が6,000万円を負担するという内容で、このうち本町の負担は約40万円を見込んでいます。

JR駅のトイレ改修費用は概算で約800万円と試算している。

補助金などの財源のめどが立たないこと、また、一方で各線区の老朽化している橋梁やトンネルなどの改修など、鉄道の存続には国の抜本的な支援が必要で、その動向が見えていないことから周辺整備を町単独で検討することは難しい状況にあると考える。



▲JR和寒駅



▲JR和寒駅内のトイレ



和田智巳議員

**問** カントリーサインのデザイン更新を  
**答** 現在のカントリーサインを大切にしたい

**問** 夫婦岩周辺の環境対策は  
**答** 計画的に整備を進めていく

カントリーサインのデザインを更新できないのか

現在、和寒町のカントリーサインはトマトがスキーをしているイラストだが、和寒町のイメージとしては越冬キャベツと南瓜。

現状に沿ったイラストに更新はできないのか。

奥山町長

カントリーサインは、北海道開発局が道路環境整備の一環として、平成2年に始めたもの。

本町においては当時、全国で活躍していた和寒高校スキー部のクロスカントリースキーと、特産品のトマトをデザインして、町確認の上で国道などに設置してある。

カントリーサインの変更は、当時、開発局から費用の面から頻繁に変更できないためしつかり検討して申請してほしいとの指導を受けた。

全道の自治体でスキーがデザインのカントリーサインは8つの市町村があるが、このうちクロスカントリースキー

のデザインは本町だけ。今しばらくは、現在のカントリーサインを大切にしたい。



光回線を和寒町全戸に

今やネット社会が進んでおり、ごこの家庭でもインターネットが必要になってくる。全戸に光回線を配備する考えはあるか。

奥山町長

町民の方々から光回線の整備要望が寄せられたため、町内関係機関で構成する『和寒町光フレッツ誘致の会』を立ち上げた経緯などあり、NTTから示されたエリア内310件以上の加入希望者が満たされた市街地において平成25年3月にサービスが始まった。

町内の農村地域においても光回線エリアの拡大を要請しているところ。

夫婦岩周辺の環境対策は

現在整備している夫婦岩で、熊などに対する情報を町内外から訪れる方たちにも正しい知識や、ヒグマップの最新情報を伝達させるようなシステムは整備されているのか。

奥山町長

昨年度は町内各地でヒグマの出没情報があったが、その都度猟友会の方や警察による巡回など、注意喚起に取り組んできたところ。

ヒグマップは上川管内の参加市町村は和寒町のみで、近隣自治体の参加がなければ効果が薄く、関係機関からの働きかけを要望したい。

また塩狩駅からのフットパスコース沿いには、夫婦岩までの距離表示や熊よけとしての鐘、遊歩道や登坂入口には入林時の注意事項などの掲示板を設置し、注意喚起を行っている。

○再質問  
夫婦岩周辺を整備するにあたりどれだけの経済効果を見込んでいるか

奥山町長

具体的な経済効果は試算していないが、塩狩峠記念館やJR塩狩駅、一目千本桜など本町の限られた資源を有効に活用し、人を呼び込むことができるよう計画的に整備を進めていく。



▲ヒグマップ

小野田久美子議員



## 問 フードツーリズム推進協議会の考えは 答 連携を一層進めていく

## 問 風っこそうや号のおもてなしは 答 できる限りのおもてなしを考えている

フードツーリズム推進協議会の考えは

5月20日に和寒町フードツーリズム推進協議会が発足したが、事業内容と観光案内所の在り方は。

奥山町長

本町の産業が持続的に発展するためには、和寒町に優位性のある食を観光資源として捉え、食と観光の連携を一層進めていくことが重要と考え、JA、商工会、観光協会、生産者団体等が連携し、5月20日に和寒町フードツーリズム推進協議会を設立した。

これまで取り組んできた物産展や商談会への出店のほか、地域団体商標登録制度などを検討する特産品ブランド化検討事業、わっさお食と観光情報案内所の運営、観光プロモーション動画の活用、冬のモニターツアーの実施などを計画している。

わっさお食と観光情報案内所は、これまで町内に特産品の販売や観光情報を発信できる拠点施設がなかったため、

試験的に開設した。

案内所については、これまで多くのマスコミ、観光や生活雑誌などで掲載していたが、広報紙やホームページ、町のフェイスブックで、積極的な情報発信に努める。

案内所のインバウンド対策として、キャッシュレス対応のレジシステム導入や、iPadの翻訳システムを活用する予定である。

観光案内所の商品は、委託販売方式としており、今後も関係者と連携を図りながら商品の充実に努めていく。

現在、案内所の看板やのぼりは完成次第、国道からわかりやすい場所に設置する。

特産品のブランド化や交流人口、関係人口の増加に努める考えである。

### JR北海道の利用促進対策は？

JRの利用促進のための設備投資との名目で、道と単独では維持困難とされる沿線の全40市町村が、費用負担と報道があるが、利用促進のため

の対策は。



奥山町長

宗谷沿線の費用負担は790万円で、本町の負担は約40万円を見込み、道議会の状況を見て第3回定例町議会までに上程したい。

町独自のJR利用促進策は既に町内高校生に対する通学運賃補助のほか、最近では、町職員による塩狩駅周辺清掃や町主催の一目千本桜鑑賞ツアーでの利用、JR主催の塩狩峠お花見列車ツアーにも協力している。

さらに8月予定の塩狩周辺フットパス開催でのJR利用の協議、また町内有志が塩狩駅待合室にSLのパネル掲示をするなど、様々な取り組みを勧めており、JRや宗谷本線活性化協議会とも連携しながら、利用促進に努める。

ビジネスチャンスと捉えた風っこそうや号のおもてなしの考えは

JR北海道は、本年8月17日から9月8日まで、旭川、音威子府間に毎週土日の全8日間、1日1往復で観光列車、風っこそうや号を運行し、和寒駅に45分停車する。

継続的な観光や経済の活性化に繋がる良い機会だと思つが。

奥山町長

風っこそうや号は、宗谷本線の利用促進と道北への観光客誘致を目的とする観光列車である。

町としては乗客をひだまりの観光案内所に誘導し、玉入れ体験などできる限りのおもてなしを考えている。

○再質問

町内各団体がボランティアで参加協力するが。

奥山町長

各種団体のご協力、非常にありがたい話だと思つので、効果的にできるか検討する。

# 江別市 環境クリーンセンター 視察報告



令和元年6月26日、総務福祉常任委員会の所管事務調査である「環境衛生について」現在課題であるゴミ処理問題、最終処分場の今後について学ぶため、江別市を視察してきました。全議員で視察することとし、研鑽を積みました。

令和元年6月25日全道町村議会議員研修会が札幌で開催された。翌日、全員による視察を行った。

江別市は人口約12万9千人世帯数が5万7千6百世帯と和寒の人口規模の約36倍である。規模的には参考にならないのではと考えたが、近代的な処理方法や環境に与える影響、最終処分場の延命効果など参考になるので、江別市環境クリーンセンター並びに江別市一般廃棄物最終処分場の視察を行った。

始めに、ゴミの分別区分と収集は、有料の指定ゴミ袋（5リットル袋10円、10リットル20円、40リットル80円など）を購入し、燃やせるゴミ、燃

やせないゴミ、大型ゴミに分け収集される。

資源ごみや危険ゴミは、月2回ゴミステーションに出すとリサイクルセンターで処理される。資源物収集は平成12年3月から、家庭のごみの有料化は平成16年10月から実施された。

種類	1枚	1袋(10枚)
5リットル袋 縦30cm(持ち手除く) 横19cm、奥行12cm	10円	100円
10リットル袋 縦36cm(持ち手除く) 横26cm、奥行14cm	20円	200円
20リットル袋 縦47cm(持ち手除く) 横36cm、奥行16cm	40円	400円
30リットル袋 縦61cm(持ち手除く) 横37cm、奥行17cm	60円	600円
40リットル袋 縦64cm(持ち手除く) 横46cm、奥行18cm	80円	800円

▲江別市の有料ゴミ袋

自己搬入ゴミ手数料は、家庭ごみ10キロ90円、事業系ごみ10キロ110円である。次に環境クリーンセン

ターは、ゴミ熱分解・燃焼溶融方式で、ゴミの中から資源物を取り出し再資源化するとともに、ゴミの持つエネルギーにより燃焼溶融を行い、最大1980キロワットの発電、ロードヒーティング、冷暖房などの余熱供給を行いエネルギーの有効活用に配慮している。

また、環境に配慮した厳しい数値目標を掲げ、運転中の排ガスデータを常時電光掲示板で表示している。

さらに不燃・粗大ごみの破砕施設を併設することにより可能な限り再資源化を進め、最終処分である埋め立て処分場への負荷も大幅に軽減され施設の面積、容量などコンパクト化された。

可燃ごみは日に140トン、不燃・粗大ごみは5時間で35トンの処理能力がある。

特筆すべきことは、ゴミを熱分解することにより、ガスとカーボンに改

質することである。これにより良質な安定した燃料とカーボンになる。今度は1300度で再燃焼することによりダイオキシン類の発生を大幅に抑えることができる。また、灰分は高温のため溶融しスラグになり、安定した品質のアスファルト用骨材コンクリートの二次製品等に有効利用されている。

施設の土地の有効利用で積雪の影響を受けないシステムによる再生可能エネルギーの「江別ノーザンフロンティア発電所」も敷地内にて実施されている。



▲江別市職員の説明を受ける

# Topic 議会

## 全道町村議会議員 研修会に参加

6月25日に、札幌コンベンションセンターで開催された全道町村議会議員研修会に参加しました。政治評論家の有馬 晴海氏より「どうなる？今後の日本政治」と題された講演を受けた後に、中央大学名誉教授、日本国づくり研究所代表の佐々木信夫氏より「地方は変わるか？議会はどう変わるか、自治体をどう変えるか？」と題された講演を受けました。



▲全道議員研修会の様子

## ～あなたの声をお聞かせください～

議会広報委員会では、議会を傍聴しての感想や議会だよりワットサムについてのご意見などを募集しています。

傍聴受付の横に設置しますので、些細なことでもかまいませんので、足を運ばれた際にはご協力をお願いいたします。



## 広報委員の一言

令和最初の国政選挙になった参議院選挙がわかりました。

全国投票率は、過去2番目の低水準、国政の「投票率の低さ」と地方議会議員の「成り手不足」は原因が似ているような気がします。日々の生活のために、政治の力は必要です。

今年、私たちの町でも選挙があり、広報委員会は新人2名が加入し、新たなメンバー構成になりました。今まで以上に開かれた議会を目指しますので、よろしく願います。



## 表紙の写真

この1年間は120周年を記念して、和寒町の歴史を振り返るをテーマにしていきます。

### 「薬用人参試験場」

今回の表紙は、昭和2年6月16日、現在の東山スキー場で薬用人参試験場に視察団が訪れた記念に撮影されたものです。

写真の下から中頃までは、除虫菊を刈った跡、その後ろ側、ムシロの下に薬用人参が植わっていました。

戦前最盛期、日本の除虫菊取引の約8割を長岡商店（兵庫県神戸市）が占め、そのうち約8割を小野田雑穀店が和寒から出荷していたそうです。

7月に満開になった除虫菊の花を収穫して乾燥させました。ちなみに、乾燥した除虫菊の花を詰めた麻袋1つで、和寒の割烹料理屋

で3日は飲食できたそうです（今の金額で約3〜5万円）。薬用人参は、カントリーエシベーター周辺でも栽培されています。5、6年経ったものを収穫、高値で売買されました。薬用人参や除虫菊は、痩せた土地でないと生育が難しかったようです。





町民インタビュー  
聞かせて  
嗚呼ワットサム  
“よさこいのプロになる!!”

チーム結成22年目。  
今年大きく飛躍した、よさこ  
いチーム『嗚呼ワットサム』代  
表の青山康俊さんに話を聞かせ  
ていただきました。



第28回 YOSAKOI  
ソーラン祭りでの受賞に  
ついて詳しく教えてください？

U-40大会は、踊り子  
40人以下で構成したチ  
ームのみが参加できます。

一次審査にエントリー  
した71チームが5プロツ  
クにわかれてパレード演  
舞を行い、上位2チーム  
(計10チーム)が二次審査  
へ進めます。

一次審査を1位で通過  
できたのですが、二次審  
査のステージ演舞は会場  
が狭く、フルスペックで  
戦えなかったことが残念  
でした。

大賞を目標にしていた  
ので結果は少し悔しいで  
すが、4回目の挑戦で、  
優秀賞をいただけました  
は素直にうれしいですし、  
来年に向けて課題も見つ  
かりました。

北海道知事特別賞は、  
地元は元より、道内地域  
の活性化へ寄与している  
チームに贈られるもので  
すが、町をPRするため  
キャラクター「かたたん」



をチームで制作し、各地  
のイベントに連れ立って  
いることを一番評価され  
ての受賞ですが、これま  
でチームに関わった全て  
の方のお陰だと感謝して  
います。

会の活動は？

練習は、毎週火・水・  
金曜日の午後7時30分  
から午後10時まで、恵み野  
ホールで行っています。

チーム主催のイベント  
は年3回、その他、地元  
のお祭りや、天塩、千歳  
紋別、旭川、剣淵、美深  
など、年間30箇所演舞  
させていきたいき、町を  
PRしています。

受賞のおかげか、今年  
は、道外からも出演依頼  
をいただいています。

今後の目標は？

よさこいのプロにな  
り、全国を公演して回る  
ことです。

今の子どもたちは、ど  
のような習い事でも、頑  
張った先にプロの世界  
があります。

自分が親になって更  
に思うのですが、全国  
で踊っているジュニア  
世代が、今は趣味でし  
かないよさこいで、将  
来、努力が無駄になら  
ないように、プロの道  
を準備しなければなら  
ないと強く思っていま  
す。

